



第9回

農でつながるコミュニティエリア 宮代町 新しい村

『新しい村』ってなに？

20世紀の高度経済成長期において、生産性の向上や効率性を追求していった結果、多くの人々が経済的な豊かさを手にすることができるようになりました。

しかし一方では、自立と助け合いの精神（結の心）や地域教育、自然とともに生きるといった、これまでの日本人が大切に育んできた文化や風習が分断され、その一部は失われてきました。

新しい村は、こうした現状に対し、「農」をテーマとした「生産」や「消費」、「農業体験」などを通して、歴史に学び、自然と向き合い、互いに助け合いながら暮らす社会を築いていく場として整備されました。

名前の由来

新しい村に関わる全ての人々が『農』という地域資源を媒介として、「新しいコミュニティ」や「新しい価値」を創造し、それらの仕組みを町全体に広げていく拠点にしたいという考えから名づけられました。



新しい村の3つの取り組み

1. 地産地消を推進

① 農産物直売所 森の市場「結」

地域内自給自足を推進し、町内農業の活性化を図るため、地元で採れた新鮮な農産物、旬の農産物を使用したパンやお惣菜、弁当などの商業製品を販売。

② 森のカフェ

地元の農産物を使用した季節のドリンクやピザ、定食、スイーツなどの販売。

③ 学校給食や町内福祉施設等の食材として

新しい村を通して、宮代で採れた農産物を使用しています。

2. コミュニティを創造

農や食をテーマとした体験事業や講座を通して、農にふれ、自然から学ぶことで、コミュニケーションを図る機会を提供しています。

■ 体験事業や講座の一例

田植え、稲刈り体験／野菜の収穫体験／農体験婚活／地元の農産物を使用した料理教室／農園貸出

3. 宮代の農業を支える

「村のアグリ」（生産部門）は、宮代の農を支え、豊かな農風景を保全しています。

■ 主な活動内容

- ・ 農家向けに水稻苗を生産し販売
- ・ 耕作できなくなった農家から田畑を預かり、米や野菜を生産
- ・ 田植え、稲刈り、草刈りなど、農作業の受託
- ・ 町内の遊休農地で野菜を生産



Information

新しい村では、企業様、団体様主催のオリジナルのイベント等に、屋内施設（村の集会所、農の家）、屋外施設（芝生広場）の貸し出しをおこなっております。また、施設の貸し出しのほか、新しい村内の圃場や田んぼを利用したイベント、昼食の提供等も行っております。

■過去に行ったイベント

ほっつけ田で稲作体験ツアー・農機具新作取材会／団体様の作品展示会・イベント貸出／甲馬サロン実行委員会様「自然観察・講演会」／旅行会社様日帰りバスツアー「野菜の収穫体験ツアー」／団体様イベント「ものづくり体験講座」／地元商店会夏のイベント「あっそんでフェスタ Presents by 西口商店会」・圃場での雑誌の取材／芝生広場でCM・TV・カタログ撮影

ちよつと寄り道——新しいまちの拠点「ロッコ」

ロッコ（6戸）は、築50年の平屋をリノベーションし、宮代町とその近郊で生まれたおいしいもの、楽しいことをつめ込んだ個性豊かな4つのお店とシェアキッチン、イベントスペースの6戸の家からなる「セレクト横丁」。

人々が集い、新しい何かが生まれる場所「ロッコ」に足を延ばしてみませんか？



宮代町 新しい村 概要

〒345-0824 埼玉県南埼玉郡宮代町字山崎 777-1



■アクセス

東武スカイツリーライン東武動物公園駅西口より徒歩15分

■営業時間

森の市場「結」 9時30分～17時

森のカフェ 9時30分～16時（15時45分ラストオーダー）

■定休日：月曜日（祝日を除く）

電話：0480-36-3441（代表） 0480-36-3955（森の市場「結」）

<https://www.atarasiimura.com/>

